

良沢先生が帰ってきます

中津市長 奥塚 正典

「解体新書」と言えば、江戸時代の解剖書で有名な医学書です。オランダ語の翻訳に苦勞に苦勞を重ね携わったのが中津藩医・前野良沢です。多くの蘭学者を生んだ中津ですが、良沢の蘭学・医学への貢献は本当に大きなものです。

当初、解体新書の翻訳者に良沢の名前は出てきません。その後、杉田玄白が「蘭学事始」に翻訳時の熱意と苦勞を記し、良沢が中心的な役割を果たしたことを紹介、注目されました。当時、良沢はオランダ語の第一人者。学究肌で完璧な翻訳でないと納得せず、自分の名前を出すことを固辞したと言われています。福澤諭吉も解体新書翻訳に感涙を流し、日本の文明開化につながるものと讃えています。大分県先哲叢書にも取り上げられ、副題は「オランダ人のばけものと呼ばれた男」。何とも中津人はすごいです。

来年元旦の NHK 正月時代劇は「風雲児たち～蘭学革命(れぼりゅうし)篇～」。主人公良沢の活躍ぶりがドラマ化されます。演ずるは歌舞伎俳優の片岡愛之助さん。大活躍中の人気スターで何とも楽しみです。そのうえ放送前日の大晦日、片岡さんほか出演者が中津に来てトークショーを行います。九州北部豪雨災害の復興支援として、中津 PR のため、NHK、県と連携し実現しました。県外・市内の皆さんに当地中津で楽しんでいただきたいと思います。



解体新書

解体新書の初版本は中津の大江医家史料館に所蔵・展示されています。誇るべき人材輩出の地、中津。来年の話は少し早いですが、「中津売り込み」を続け一人でも多くの人に来ていただき、ビジネスも観光も、そして市民の皆様も元気でありたいと思います。まずは、年初の中津情報発信第一弾、『良沢先生、お帰りなさい』といきましょう。